

報道関係者各位

2009年7月1日

# 第15回学生CGコンテスト作品募集

学生ならではのチャレンジ精神と斬新なアイデアにあふれた作品を募集 7/3～9/15

CG-ARTS協会（東京都／理事長：岩木 肇）は、「第15回学生CGコンテスト」の作品募集を7月3日から開始します。

学生CGコンテストは、次代を担う若い才能を発掘し、その才能を広く紹介することを目的として1995年から毎年開催。応募作品は千点を超え、国立新美術館で開催した受賞作品展への来場者数は5万5千人を超えるなど、若い才能が集まるコンテストとして注目を集めています。

この15年の間に274名が受賞。年を追うごとに作品の表現は豊かになり、受賞者の活躍も目覚ましいものとなっています。受賞作品展での出会いがきっかけで、作品が商品化、海外に招聘されるなど世界レベルで活躍されている方も多くなりました。

募集は、静止画、動画、インタラクティブの3部門。グラフィックスや写真、映像、アニメーション、インタラクティブアート、Web、ゲームなど、幅広いジャンルのデジタル作品を対象としています。本年よりCGを駆使した娯楽性の高い作品を評価するエンターテインメント賞、今後の活躍が期待される作者の作品に与える奨励賞を新たに設けます。

応募期間は7月3日から9月15日まで。受賞作品展は来年2月に文化庁メディア芸術祭の協賛事業として国立新美術館で同時開催します。



第15回学生CGコンテストポスター（左） 昨年度受賞作品展の様子（右）

※作品募集のポスター画像は右記ウェブサイトからダウンロードが可能です。〈プレス専用 [www.cgarts.or.jp/outline/press/2009/090701.html](http://www.cgarts.or.jp/outline/press/2009/090701.html)〉

## この件に関する問合せ先

[報道関係] 広報 篠原、千葉

[一般] 学生CGコンテスト事務局 <[www.cgarts.or.jp/contact/](http://www.cgarts.or.jp/contact/)>

[TEL] 03-3535-3501 [FAX] 03-3562-4840 [URL] [www.cgarts.or.jp/scg/](http://www.cgarts.or.jp/scg/)

# 募集概要

---

- 名称 第15回 学生CGコンテスト
- 主催 CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）
- 応募部門
- 静止画部門  
2D・3D のグラフィック作品、キャラクター、デジタルフォトなど  
\*デジタル技術を使って制作されたグラフィック作品や写真（組作品可）
  - 動画部門  
2D・3D アニメーション、デジタル加工した映像作品など  
\*コンピューターで制作、または実写をデジタル加工・編集した映像作品やアニメーション作品
  - インタラクティブ部門  
インタラクティブアート、ゲーム、Web など  
\*デジタル技術を使って制作された対話性のある作品（web、ゲームなども含む）
- 審査委員会  
（敬称略・50音順）
- 原田 大三郎（審査委員長・多摩美術大学教授）  
内田 まほろ（キュレーター）  
笠井 修二（クリエイティブディレクター）  
クワクポリョウタ（メディア・アーティスト）  
豊嶋 勇作（CGプロデューサー）  
畠山 直哉（写真家）  
山崎 吉広（株式会社フジテレビジョン ライツ開発局コンテンツ事業部副部長）  
山路 和紀（株式会社プレミアムエージェンシー代表取締役社長）
- 応募期間 2009年7月3日（金）～9月15日（火）必着 応募料無料
- 応募資格 学生であること。社会人学生や2009年3月に卒業された方の卒業制作作品なども対象となります。
- 応募方法 Webより登録後、作品送付。< [www.cgarts.or.jp/scg/](http://www.cgarts.or.jp/scg/) >
- 審査基準 アート・デザイン・エンターテインメント・工業分野など、ジャンルは不問。制作過程の論理性・技術力・審美性・オリジナリティなどから、いかに新しい表現を追求しているかを評価します。
- 各賞 各部門ごとに最優秀賞・優秀賞・エンターテインメント賞・奨励賞を決定します。  
賞品：デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、プリンター等を予定。  
提供：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- 発表と作品展示 [発表] 2009年11月下旬 学生CGコンテスト Web サイトにて発表（予定）  
[受賞作品展] 2010年2月3日（水）～2月14日（日） 国立新美術館（港区・六本木）  
※受賞作品展は、文化庁メディア芸術祭の協賛事業として同時開催します。

## 受賞者の活躍

(敬称略)



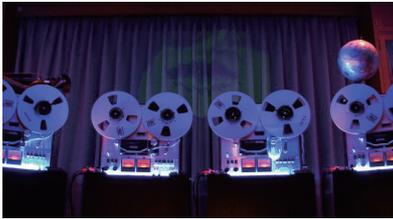
### 在学中から TV のアニメーション制作に携わる！ 青木 純

第11回 動画部門 佳作「コタツネコ」

東京藝術大学在学中に制作したアニメーション作品で学生 CG コンテストの受賞をはじめ、数々のコンテストで賞を獲得。2003年のフジテレビ「SMAP×SMAP」のブリッジアニメーション・SPタイトル制作以降、NHK「みんなのうた」や「サラリーマン NEO Season3 オープニング」、足立区「アダチン」など数多くの番組のオープニングタイトルやショートアニメーションの制作を手がけている。活動はテレビ、Web、本と多岐に渡る。詳細は <http://www.aokijun.net/>。

#### プロフィール

1981年沖縄県生まれ。2001年東京藝術大学デザイン科へ入学し、2003年に授業課題をきっかけにアニメーションの自主制作を始める。2007年東京藝術大学デザイン科卒業。同年7月、株式会社スペースネコカンパニーを設立(所在地:東京都渋谷区)し、ポップでキュートをモットーに、誰でも楽しめるエンターテインメントを目指してアニメーションを制作している。



### 受賞作品展での出会いで広がる活躍の場 和田 永

第14回 インタラクティブ部門 優秀賞「Open Reel Ensemble」

古いオープンリールデッキとコンピュータを融合させたサウンドパフォーマンスで今年2月の受賞作品展を沸かせた「Open Reel Ensemble」。11日間の会期中に雑誌の取材を受ける等、多くの方との出会いが活動の場を広げ、その後「101Tokyo」や学研大人の科学が主催した「レコーダーナイト」、「Make Tokyo Meeting O3」等でライブ活動を行い、話題を呼んでいる。今後は東京初台にあるICC※1での展示・ライブ、ラフォーレ原宿でのイベント出演※2、プロの音楽家との共演等※3が予定されている。詳細は <http://crabfeet.blogspot.com/>。

#### プロフィール

1987年東京都生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科在籍中。Sony Music Publishing に所属するミュージシャンでもある。バンド「蒸気青月楽団」主催。壊れた音響機器や生楽器、コンピューターなどを駆使して、音楽/音響作品を制作している。

※1 ICCの新人発掘コーナー、エマーゼンシーズ。8月末～11月までの約3ヶ月間で、ライブも予定している。

※2 ラフォーレ原宿でのパフォーマンスのイベント。今年12月に出演予定。

※3 井上鑑さんが主催するコンサート「No Nukes Gig」

## CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）について

CG-ARTS 協会は 1992 年に設立した文部科学省認可の財団で、主に CG 分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。

#### □会員企業

<理事会員>株式会社 NTT データ/キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社/株式会社電通/日本 SGI 株式会社/日本電気株式会社/株式会社博報堂

<会員>株式会社インフォバーン/株式会社インプレスジャパン/株式会社ウチダ人材開発センタ/オートデスク株式会社/株式会社大林組/キヤノン IT ソリューションズ株式会社/キヤノンシステムアンドサポート株式会社/キヤノンソフトウェア株式会社/株式会社クリエイティブ・コミュニティサービス/株式会社クリエイティブ・21/株式会社資生堂/株式会社シュガーカンパニー/新日鉄ソリューションズ株式会社/ソフトバンク クリエイティブ株式会社/株式会社ソフト流通センター/大日本印刷株式会社/株式会社丹青社/株式会社テレビ朝日/株式会社テレビ東京/株式会社電通テック/株式会社東京放送/凸版印刷株式会社/株式会社日経 BP/株式会社日交/日興美術株式会社/日本テレビ放送網株式会社/株式会社ビーエス朝日/株式会社フォーラムエイト/株式会社フジテレビジョン/株式会社プレシース/株式会社プレミアムエージェンシー/株式会社プロネット/株式会社メンバース/株式会社ライトパブリシティ/株式会社レイ (50 音順 2009 年 6 月現在)